

「遺伝子・染色体構築研究分野セミナー・国際共同研究セミナー」開催

2019年11月19日

11月19日（火）、金沢大学がん進展制御研究所4F会議室において、パドヴァ大学 Venetian Institute of Molecular Medicine（イタリア）、Denis Martinvalet 先生をお招きして、遺伝子・染色体構築研究分野セミナー・国際共同研究セミナーを開催しました。

セミナーでは、「Mitochondrial Entry of Cytotoxic Proteases : A New Insight into Granzyme Cell Death Pathway」という演題で、細胞障害性Tリンパ細胞から放出されるセリンプロテアーゼ・Granzymes が、がん細胞などのターゲット細胞のミトコンドリアの中に入りに入りこみ、ミトコンドリア呼吸鎖酵素複合体サブユニットを切断し、活性酸素種の産生を上昇させることで、細胞死を引き起こしているかについて、詳しく講演していただきました。この Granzymes がミトコンドリア内に搬入される分子メカニズムは、通常の細胞質で翻訳されたタンパク質がミトコンドリア内へ搬入されるのとは異なる新規のメカニズムであることも示され、大変有意義なセミナーとなりました。

セミナーには、研究所内外の教職員、大学院生等約20名が参加し、活発な質疑応答や意見交換が行われました。



Tuesday 19 November 2019

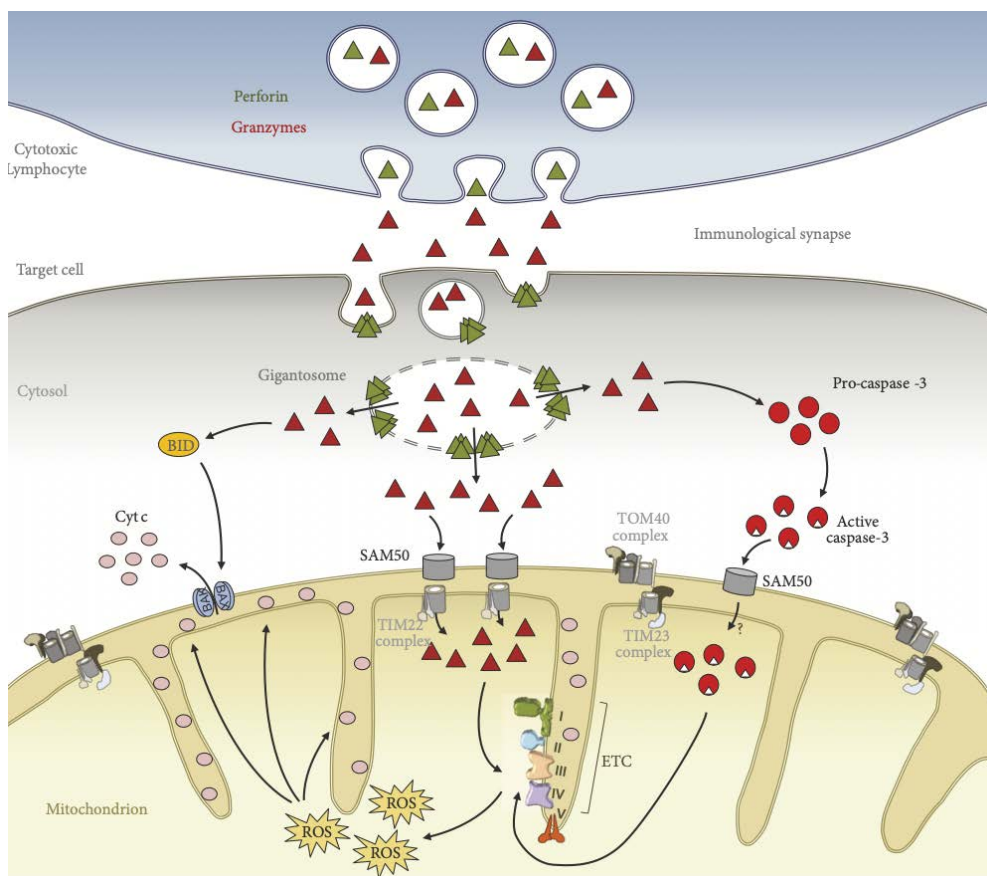
17:00–18:00

Cancer Research Institute,
Kanazawa University, 4th Floor

Mitochondrial Entry of Cytotoxic Proteases: A New Insight into Granzyme Cell Death Pathway

Pr. Denis Martinvalet

Department of Biomedical Science, University of Padua,
Venetian Institute of Molecular Medicine, Italy



Oxid Med Cell Longev. 2019
doi: 10.1155/2019/9165214.

Contact: Atsuko Kasahara (akasahara@staff.kanazawa-u.ac.jp)